

## 1 題材名 季節に適した服装を知ろう

## 2 題材設定の理由

Aは、時折、その気候に合わない服装で学校にきて、学習に集中できない時がある。そこで、季節に適した服装を理解し、自分でそれを選択することができる目標とし、本題材を設定した。

## 3 Aの実態

--

## 4 指導のねらい

- 季節に適した服装について考え、正しく理解する。
- これから的生活において、季節に適した服装を自分で選択しようとする態度を身に付ける。

## 5 展開

活動の内容	支援と評価	準備物
1 ウォーミングアップを行う。 ・忍者すごろくをしよう。	・Aが養護教諭に対してリラックスした状態になれるように、楽しい雰囲気づくりをする。	忍者すごろく
2 今日の髪型をみて、乱れているようであれば、「いっしょにしばりなおしてみようか」と誘ってみる。 (Aは頭髪の乱れがあり、今後個別指導での改善を考えている)	・自分で髪の毛をしばるAは、だんだん、人に触られることに抵抗を示さなくなっているが、次回の活動「頭髪の乱れを整えてきちんとした身だしなみにする」にむけて、布石をうつておきたい。 ・本人がきれいにしばりなおすことに抵抗を示さなければきれいにしばりなおしてみる。	ブラシ
3 本時の学習課題をつかむ  季節にあった服装について考えよう		
4 季節にあった服装について知る。 ・半袖のほうが暑いとき ・長袖のほうが寒いとき	・2枚の女の子の絵を見せ、どちらが暑いときのもので、どちらが寒いときのものかあてさせる。 ・春・夏・秋・冬の季節に適した服装について、具体的に確認させる。	女の子の絵
5 暑さ、寒さに応じた服装を自分で考えてみる。 ・それぞれの季節の景色と女の子が書かれた画用紙を用意し、そこに、その季節に応じた服の絵を考えてかいてみる。	・Aは絵をかくのが好きなので、そのリソースを生かし、絵をかきながら気候に適した服装をすることを意識付けたい。実際の学校生活では重ね着をして脱ぎ着したりもするので、Aの書いた服装を確認しながら、「この下はシャツを着ようね。」とか、「ジャンパーを着た絵を書いて、暑かったら脱ぐようにしようか」などと話しかけ、イメージさせながら活動を行う。	景色と女の子の顔が描かれた絵
6 ふりかえりカードを記入する。	・今日の活動についての振り返りをする。  評 気候に合った服装について理解できたか。 評 これから的生活で、気候に合った更衣をしていくという意識がもてたか。	ふりかえりカード(資料1)

## 6 使用した資料

◎冬の服装の絵



◎夏の服装の絵



この2人の女の子の絵はいつの時期（季節）のものか、どうしてそう思ったのかを考えさせました。

◎季節が分かる背景と首から上の女の子の絵



児童が絵をかくのが得意なので、季節が分かるような背景と、女の子の首から上の絵をかいだ画用紙を用意し、その下の服装の部分を考えさせながらかく作業をしました。

資料1 ふりかえりカード

【資料1】

【児童用】

## ふりかえりカード

平成 年 月 日

※あてはまる数字に○をつけてください

- 4 そう思う
- 3 どちらかといえばそう思う
- 2 どちらかといえば思わない
- 1 そう思わない

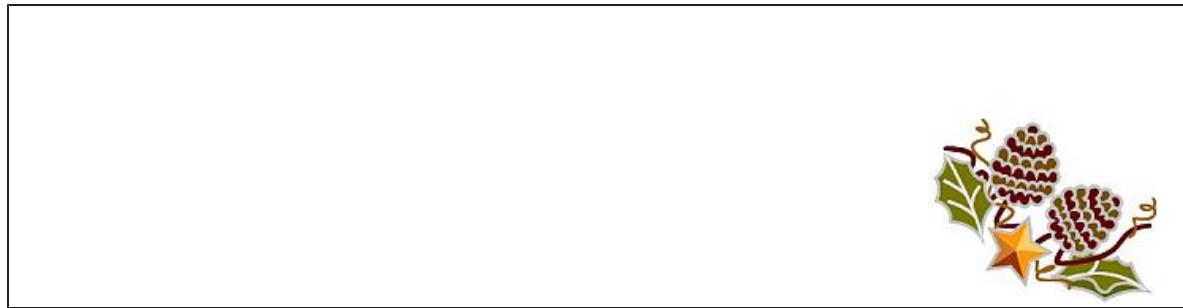
1 きょうのかつどうは、たのしかったですか？ 4 3 2 1

2 きょうのかつどうは、よくわかりましたか？ 4 3 2 1

3 きょうのかつどうでしつことは、これからもや  
ってみようとおもいますか？ 4 3 2 1

4 また、きょうのような、おはなしやかつどうをし  
たいですか？ 4 3 2 1

5 これからの生活で、ふくそうについて、自分はどのようにしていけばいいでしょうか？きよ  
うのべんきょうを思い出して、書いてみましょう。



年 組 名前